2016年8月に北海道を相次いで襲った台風は、道東を中心に大きな被害をもたらし、その影響は未だに続いています。今回の災害は、暮らしを支える公共施設の大切さと、いざというときに全力を挙げて復旧・復興作業に取り組む建設業者の役割を広く社会に伝えました。

引き裂かれた大地

立ち上がる建設業者